

令和7年度10月定例教育委員会議事録

【日時】

令和7年10月16日（木）

開会 午後1時00分

閉会 午後2時30分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

10 名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	竹村 智博
学校支援課長補佐	宮原 隆史
学校教育係長	小澤 靖一
教育総務係	中沢 大輔

【傍聴者】

0 名

【次第】

1 議事

- (1) 【非公開】 区域外就学について
- (2) 【非公開】 就学の判断について

2 協議

- (1) 【非公開】 学校の様子・運営上の諸課題
- (2) 町田市立小山田南小学校への教育視察を受けて
- (3) 全国学力学習状況調査から
- (4) 最近の教育行政についての意見交換
- (5) 小中学校あり方検討委員会から
- (6) その他

3 報告事項

- (1) 市町村教育委員会連絡協議会報告
- (2) 北部教育委員会研修会【11月14日（金）】
- (3) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

こんにちは。二十四節気の寒露も過ぎ、いよいよ朝晩は涼しくなり、時には寒さも覚える様になりました。しかし10月半ばではありますが、例年の様な爽やかな青空、天高くどこまでも澄んだ青空という日が殆ど無く、毎日ぐずついた天気です。これもまだ日中の気温が高い影響でしょうか。

さて、先週の金曜日10月10日には、東京都町田市の小山田南小学校への教育視察、大変ありがとうございました。望月校長先生の強い信念と、それに応える先生方の情熱的な授業の一端を見る事ができました。学校の雰囲気、授業観、授業風景を半年で変え、学校の面目も一変させ、大きな成果を上げる事ができた理由も分かった様な気が致しました。この視察が辰野町の学校に生かす事ができるかどうか委員の皆さんのご意見を頂きたいと思います。私自身、町内の小学校の先生方が皆、あの様なパワーをもって児童に接し、言葉は適切ではありませんが子ども達を時には追い込んでいくという光景は全く見られません。でも学習内容によっては、あの様に追い込んでいく様な事も必要ではないかとも思いました。例えば九九等は、あの様にしてその時期に徹底的に学ばせ、確実に定着を図らなければならないものもあるのではないかと感じました。4年生になったり5年生になったりしても、また中学校に入っても九九があやふやな子をそのまま置いていく、高学年になっても九九表なるものを与えて算数の授業を進めていく事は、ある意味子どもにとって不幸な事ではないかと思います。九九や分数、小数を学ぶ時にはその事に注視させ、一気に習得を図る、先程の不適切な表現ですが追い込んで身に着けさせる、そしてまた時にはゆったりとした時間の中で自分の考えをじっくり膨らませる事ができるというメリハリのついた授業が必要ではないかと思いますが、先生方はどう感じましたか。また、全ての教室において「本時の授業の流れ、Today's Goal」が明確に表示されている、これは子どもにとって、今何を学んでいるんだという事が分かるし、授業が終わった時に、今日はここまでやった、これがわかったという確認もできて大変有効な事だと思いました。大変参考になった研修視察であったと思いました。

今日の定例教育委員会では、議事として、区域外就学の認定、就学の判断について、

協議として、学校の様子や運営上の諸課題、小山田南小学校への教育視察について、全国学力学習状況調査、小中学校あり方検討委員会の今後等です。それではよろしくお願いします。

5 議事

(1) 【非公開】区域外就学について

- ・小澤学校教育係長より説明。承認。

(2) 【非公開】就学の判断について

- ・教育総務係中沢より説明。承認。

6 協議

(1) 【非公開】学校の様子・運営上の諸課題について

- ・宮澤教育長より説明。

資料として「学校の様子及び運営上の諸課題」を提示。

(2) 町田市立小山田南小学校への教育視察を受けて

< A 委員 >

これを学校として取り入れていくかは分かりませんが、刺激を受けるという意味で、他校の学校に参観に行き研修をしていくという事は大事かと思います。必要な部分はその先生が取り入れて、学校等に紹介していくという事で良いのではないかと思います。100 桊計算でも良いですし、小学校 1 年生からの一桁と一桁の足し算引き算、或いは漢字の勉強なんかは参考になるのではないかと思います。それと朗読で、大きな声でドリルの勉強の時に「私と小鳥と鈴と」を暗記して読んでいるのを見て、驚きました。皆の前で発言したり表現する事にも繋がっていくので、良いなと思いました。私が小学校の頃、担任がひたすら声を出して読む、暗記する迄読むという事をさせられました。自分にとっては役に立ったと思っています。今はさらっと国語の教科書を読んで、少し追究するという事が多いのですが、徹底的に音読して覚えるという勉強も、特に小さい低学年の子にとっても物凄く大事かと思いました。それから 4 年生のクラスの先生が、2 年生の時は凄く荒れていたというお話をしていました。それでもあれだけ 1 時間の授業で集中してドリルに取り組んでいるという姿を見ると先生達にしてみると、パターンの授業ですので、やり方を勉強すると直ぐにできる様になるとクラスに活かせる様にもなって、繰り返しできる様になるとと思います。クラスの子があれだけ集中してできる様になるのは凄いなと思いました。

<宮澤教育長>

私は小学校の経験は無いのですが、100 桊計算は九九以外にもあると思いますが、辰野町でも 100 桊計算はやっていると思いますが、あれを見ると紙では駄目ではないかと思いました。紙だと間違えていても分からないですが、タブレットだと次に進めません。

<B 委員>

友達と教え合うという事はお互いに良い効果があると思いますので、これはどの小学校でもやって貰いたいと思いました。生活表と言いますか一週間の組立がこの町内の学校でも可能であったら、先生方にとっても、子ども達にとっても集中してできると思うので、実践できたら良いなと思いました。

<C 委員>

100 桊計算等の教材は所謂システムだと思いますが、同じ物を学校の先生が共有してやるという事が、このプリントについてはシンプルではありますが、革新的だと思います。ルールが決まっていて分かり易くて良いなと思いました。そうする事で、先生達の実力差と言うと失礼ではありますが、フラットになると思いました。それに加えて、1 週間毎にローテーションする担任、教科担任とこのプリントを組み合わせる事によって、学校において表現として良くないと思いますが、工場的で学級毎の差も緩やかになると思います。一長一短はあると思いますが、平等感というか、先生によるムラが無くなる、上手い方法だと感じました。批判もあると思いますが、先生によってはこのクラスを良くしたいという思いを持たれていると思いますが、ただ全体の事を考えると何かあった時には良いと思いますし、起こらない様になるのではないかと思います。仕組みが凄いなと感じました。これは 1 学年 1 クラスでは難しいと思いますし、ある程度ボリュームがないとローテーションする事が出来ないので、学校にはある程度、規模が必要ではないかと思います。

<宮澤教育長>

辰中くらいの規模だと学年担任制で良いと思います。4 クラスに担任 4 人、副担任が 3 人程います。この 7 人で回していくという事も良いと思います。そうする事で若い先生や講師の先生も鍛えられます。

<D 委員>

校長先生も言っていましたが、教育大学を出てきて、4 月からいきなり担任

というのは大変だと思います。

<宮澤教育長>

長野県では昭和の時代からそれが当たり前でした。

<E 委員>

ある小学校で、4クラスある学校でしたが、とても荒れてしまったクラスが1つありまして、担任の先生がげっそりしてしまい、毎年上手くいかなかったのですが、5年の先生が代わりに降りて、その先生もやつれてしまいました。その時に学年主任の先生が話をして、授業で先生の行き来をしようという話をして、学年担任制まではいかなかったのですが、そうしないと潰れてしまう先生が出てしまうし、上手くいかないクラスもあるので、ある程度そういった事も考えていく事も必要かと思います。こういう状況になって、学年で見ていかないとダメだと思います。

<竹村学校支援課長>

担任が替わるというのは、子ども達にとっても、先生達にとっても負担が集中しなくて良いのではないかと思います。それと100 枠計算は子ども達に集中力を付けるという意味では辰野町でも良いのではないかと思います。全てを取り入れて良いかと言うと、少し疑問ではありますが、ついていられない子が出た時にどうするのかというのは国語の授業を見ていて、少し感じました。

<福島学びの支援課長>

100 枠計算を集中して取り組んでいて、テンキーも見ずにやっている姿を見て凄いなと感心しました。少し今思うのは、詰め込んでやるというのは昭和っぽいなと感じました。では、どこまで現場で、今の教育のやり方をしている先生方がどこまで受け入れてくれるのかと後になって思いました。皆、ハキハキしていて良い子だし、力を付けるという点では力が付いているかもしれませんが、それが今の教育のやり方とどの様に擦り合わせていくのか。100 枠計算や漢字も最初一気に覚えるというのは白文帳を思い出しました。そのまま取り入れるというのは難しいのかと思いました。

<宮原学校支援課長補佐>

先生方が凄くやる気に満ち溢れているという感じを受けましたし、子ども達は男女で分け隔てなく、仲良く、素直であったと感じました。国語の授業で、変な話、遊んだりする様な時間が無く、あっという間の45分という感じがし

て、為になっていると思いました。

<宮澤教育長>

一番最初にお話しした様に、九九なんかは100 桁計算で徹底的に覚えるというか、反射的に答えが出る様にしていかなないと、不幸だなと思います。九九ができないと、その先の連立方程式なんかはとても難しくなってしまいます。九九なんかは徹底的に2年生の時に身に付けさせてあげないといけないのではないかと思います。

<教育総務係 中沢>

今回の視察には行っておりませんが、お話を聞いていて教育支援の関係で学校を回らせて頂いていますが、授業を見ていて、先生によって授業が面白い、分かり易いと感じる事もあれば、分かりづらいと思ってしまう事もあります。先生がローテーションする事や、カリキュラムが決まっている事で、当たり外れがなく、ムラが無くなって良いのではないかと思います。また、詰め込んでついていけなくなってしまった場合に課題や難しさがあるかと思いますが、個人的にはゆとりのある授業よりも身に付ける授業が行われている学校に子どもを通わせたいと思います。

<F 委員>

私も視察には行けませんでした。このプリントというのはその学年で使うという事が決まっているものなのですか。

<宮澤教育長>

これは蔭山先生が中心となって作った教材です。市販もされているものです。

<F 委員>

5年生の算数が中学の基礎だという話をこの教育委員会で聞いて、子どもにも今の勉強が分からなくなると中学で困るから頑張れと伝えていますが、この九九や小数、分数という所が分からなくなってしまうと、この先の算数、数学が分からなくなってくるので、受験の時期になると自習の時間が増えてきますが、一生懸命プリントを解いている子とそうでない子が、特に数学の時間では見られましたので、中学校の数学の時間がずっと辛いだろうなと思います。面白味を感じるかは別として、100 桁計算だとか反復みたいな事はやってあげて欲しいなと思います。

<宮澤教育長>

まだ色々意見があるかと思いますが、11月に公開だと言うので、ホームページに公開されていますので、内容を確認していきたいと思います。

<竹村学校支援課長>

11月28日の午後、2時間程公開する様です。全学年の授業を公開し、集中反復モジュール授業15分、提案授業30分。その後に、集中速習をやって、最後に蔭山先生の講演が予定されています。

<宮澤教育長>

これを見て、良さそうであれば校長先生達に相談して、日帰りで行きたいと思います。各学校から1名と言うよりも条件を付けて考えてみます。

(3) 全国学力学習状況調査から

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について」を提示。
- ・各学校から、校長会の際に提出された内容を提示。

(4) 最近の教育行政についての意見交換

- ・資料が用意できず、今回は議題としない。

(5) 小中学校あり方検討委員会から

- ・宮澤教育長より説明。
- ・前回の委員会でこれまでの検討事項を整理したものを提出。
- ・次回(11月)は提言に向けた形で協議を進める。
- ・整理したものを次回示し、まとめれば、議会の全員協議会に報告。その後、パブリックコメントを約1か月間求める予定。12月の後半から。それを纏め、提言書とする予定。

7 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

- ・宮澤教育長より市町村連絡協議会報告。
- ・資料として「9月市町村教育委員会連絡協議会(報告)」を提示。

(2) 北部教育委員研修会【11月14日(金)】

- ・宮原学校支援課長補佐より説明。

- ・資料として「令和7年度上伊那北部教育委員研修会の開催について（通知）」「令和7年度 上伊那社会教育委関係者懇談会 開催要項」を提示。
- ・当日の出欠、日程確認。
- ・来年は辰野町が当番予定。

(3) その他

- ・福島学びの支援課長より「辰野町資料」について説明。
- ・川島小学校の記念式典と閉校式について記録。

8 閉会